

明るく思いやりのある子ども
自分で考えやり抜く子ども
強くたくましい子ども



朝 日 子

ホームページURL <http://www.ofunato-school.jp/matsusyo/>

令和2年度 第23号

R3. 2. 22

令和2年度「まなびフェスト」達成状況について

令和2年度 大船渡市立末崎小学校 まなびフェスト



めざす子どもの姿(学校教育目標)

明るく思いやりのある子ども | 自分で考えやり抜く子ども | 強くたくましい子ども

主体的姿	一人ひとりのよさを認め合い、挨拶や感謝の気持ちをしっかりと伝え、助け合おうとする子	話をしっかりと聞き、基礎・基本の内容を習得し、目的意識をもって学び続ける子	心や身体の健康に関心をもち、主体的にねばり強く健康づくり・体力づくりに取り組む子
学校では	取組 ★ 自己評価や相互評価の場やペアやグループなどで学び合う場、聴き合う場を進んで取り入れます。 ★ 郷土学習を一層充実させます。 ★ ソーシャルスキルを高めるための指導と教科道徳の指導を工夫するとともに、日常的なボランティア活動に取り組みさせます。 目標(評価) ◆ 自己肯定感、他者肯定感への意識(90%以上) ◆ 地域の良さに対する肯定感(90%以上) ◆ いじめ根絶への意識、助け合いの意識(100%)	取組 ★ より主体的で深く学ぶことができるよう、組織的・計画的な指導法の改善に努めます。 ★ 学びを支える力(読み・書き・計算・姿勢など)を高められるよう指導を徹底します。 ★ 楽しく安心して学習に取り組むことができるよう、学級づくりを充実させます。 目標(評価) ◆ 授業に関する様々な意識の向上 ◆ 諸学力検査で、前年度より中央値・集団全体を向上 ◆ 1日(平日)に10分以上読書をする子の割合(73%)	取組 ★ 生命の大切さに関する指導を一層充実させます。 ★ 健康への関心と意識を高められるよう指導を工夫します。(特に歯科指導の充実を図ります。) ★ 体力・運動能力の向上に向けて、指導を工夫します。(個々の運動習慣について振り返りながら) 目標(評価) ◆ 平日のゲーム時間の減少(1時間未満の子70%以上) ◆ 体力テスト(C以上の子80%以上、落ち込みの見られる種目の向上)
ご家庭へのお願い	● 大人からでも進んであいさつをしたり感謝の言葉を話したりしてください。 ● 子どもたちの話を耳を傾け、家の中の会話を増やしましょう。 ● PTAや地域の行事には、できるだけ参加させましょう。 ● 家庭で手伝いや仕事をさせましょう。	● 家庭学習の開始時刻と終了時刻を決め、確実に習慣になるよう取り組ませてください。 ● 平日の家の読書(ちよこっ読書=1日10分以上)に必ず取り組ませてください。 ● 家庭学習に集中して取り組むことができる環境づくり(テレビ)と励ましをお願いします。 ● テレビやゲームの時間の約束を決め、必ず守らせてください。	● 様々な場面を想定して、避難場所を決めておいてください。 ● 「早寝・早起き・朝ご飯」に取り組みしましょう。 ● 日常的に体を動かす活動に取り組ませてください。(特に徒歩通学へのご協力をお願いします。) ● 歯磨きやデジタルフロスの習慣がつくよう、家庭内での取組をお願いします。

令和2年度の授業日数も、早いものであと18日間となりました。この1年はコロナ禍により、学校行事の中止や延期が続いてしまいましたが、保護者の皆様や地域の皆様のご理解とたくさんのご協力によりここまで来ることができました。本当にありがとうございます。さて、昨年(2020年)の12月に保護者の皆様に書いていただきました「末崎小学校の教育に関するアンケート」につきまして、子供たちのアンケートや教職員アンケートとともに今年度の結果をまとめましたのでご報告いたします。なお、達成状況につきましては、1学期にお渡ししました「まなびフェスト」の項目に沿ってお伝えいたします。

・評価は、パーセントで示した項目と、4段階の評点で示した項目の2種類となっております。

1 明るく思いやりのある子ども

「一人ひとりのよさを認め合い、挨拶や感謝の気持ちをしっかりと伝え、助け合おうとする子」

◇目標 自己肯定感、他者肯定感への意識 → 90%以上

- ① 「自分には良いところがあると思うか」 → 88%
- ② 「先生や友達はあるあなたの良いところを認めてくれるか」 → 92%
- ③ 「最後までやり遂げ、うれしかったことはあるか」 → 94%

◇目標 地域の良さに対する肯定感 → 90%以上

- ④ 「自分の住む地域にはよいところがあるか」 → 100%

◇目標 いじめ根絶への意識、助け合いの意識 → 100%

- ⑤ 「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思うか」 → 99%
- ⑥ 「人が困っているときは進んで助けようと思うか」 → 97%

子どもたちの自己肯定感や他者肯定感は伸びてきています。今後も心温かい人間関係づくりに向けて「進んで挨拶」をはじめ「ふわちく言葉」や「ありがとうの木」の活動等を盛り上げていきます。

【目標達成に向けた学校の取組(教職員評価)】

- ☆ 自己評価や相互評価の場や学び合う場、聴き合う場を進んで取り入れること → 評点3.4
- ☆ 郷土学習を一層充実させること → 評点3.1
- ☆ ソーシャルスキルを高めるための指導と教科道徳の指導を工夫するとともに、日常的なボランティア活動に取り組ませること → 評点3.2

【目標達成に向けた家庭の取組（保護者評価）】

- 大人から進んであいさつをしたり感謝の言葉を話したりすること → 評点3. 4
- 子どもたちの話に耳を傾け、家の中での会話を増やすこと → 評点3. 3
- PTAや地域の行事には、できるだけ参加させること → 評点3. 5
- 家庭で手伝いや仕事をさせること → 評点3. 2

2 自分で考えやり抜く子ども

「話をしっかりと聞き、基礎・基本の内容を習得し、目的意識をもって学び続ける子」

◇目標 授業に関する様々な意識の向上 → 80%以上

- ① 「授業中、自分の考えを深めたり広げたりしているか」 → 81%
- ② 「1日の学習時間1時間以上（3年生以上）」 → 70%
- ③ 「授業でわからないことは解決しようと努力しているか」 → 98%
- ④ 「国語の勉強は好きか」 → 77%
- ⑤ 「国語の授業の内容が分かるか」 → 90%
- ⑥ 「算数の勉強は好きか」 → 72%
- ⑦ 「算数の授業の内容が分かるか」 → 91%
- ⑧ 「授業で、めあて・課題が示されているか」 → 95%
- ⑨ 「授業で振り返る活動をしているか」 → 88%
- ⑩ 「読書は好きか」 → 86%
- ⑪ 「学校の図書室や市の図書館に週3～4回以上行く」 → 64%

今回、特に伸びている項目は⑩⑪の読書についてです。家庭での「1日10分以上」の取組もプラスになっています。今後は、国語・算数等の学習意欲の向上にさらに努めてまいります。

◇目標 諸学力検査で、前年度より中央値・集団全体を向上 → 平均以上

- ⑫ 「CRT 学力検査（全国学力・学習状況調査と岩手県学習定着度状況調査は今年度実施なし）」 → 全国平均並み

◇目標 1日（平日）に10分以上読書をする子の割合 → 73%

- ⑬ 「平日10分以上読書をしているか」 → 73%

【目標達成に向けた学校の取組（教職員評価）】

- ☆ より主体的で深く学ぶことができるよう組織的・計画的な指導法の改善に努めること → 評点3. 2
- ☆ 学びを支える力（読み・書き・計算・姿勢など）を高めるよう指導を徹底すること → 評点3. 1
- ☆ 楽しく安心して学習に取り組むことができるよう、学級づくりを充実させること → 評点3. 2

【目標達成に向けた家庭の取組（保護者評価）】

- 家庭学習の開始時刻と終了時刻を決め、確実に習慣になるよう取り組ませること → 評点2. 7
- 平日の家での読書（ちょっと読書＝1日10分以上）に必ず取り組ませること → 評点3. 3
- 家庭学習に集中して取り組むことができる環境づくり（ノーテレビ）と励まし → 評点2. 8
- テレビやゲームの時間の約束を決め、必ず守らせること → 評点3. 0

3 強くたくましい子ども

「心や身体の健康に関心を持ち、主体的にねばり強く健康づくり・体力づくりに取り組む子」

◇目標 平日のゲーム時間が1時間未満の子 → 70%以上

- ① 「ゲームは1日1時間未満」 → 77%

◇目標 体力テストC以上の子80%、落ち込みの見られる種目 → 向上

- ※ 今回はコロナ禍により体力テストは実施せず（マラソン・なわとびを実施）

【目標達成に向けた学校の取組（教職員評価）】

- ☆ 生命の大切さに関する指導を一層充実させること → 評点3. 3
- ☆ 健康への関心と意識を高められるよう指導を工夫すること → 評点3. 1
- ☆ 体力・運動能力の向上に向けて、指導を工夫すること → 評点3. 2

【目標達成に向けた家庭の取組（保護者評価）】

- 様々な場面を想定して、避難場所を決めておくこと → 評点3. 3
- 「早寝・早起き・朝ご飯」に取り組むこと → 評点3. 3
- 日常的に体を動かす活動に取り組ませること（徒歩通学） → 評点3. 5
- 歯磨きやデンタルフロスの習慣がつくよう取り組むこと → 評点3. 3

今年度は、体を動かす機会が例年より少ない状況がありましたが、マラソンやなわとびを通して体力づくりを行ってきました。ゲーム時間が1時間未満の子が増え、よい傾向であるといえます。今後も健康づくりへのご協力をお願いします。